

3. VRを活用した普天間飛行場跡地利用における将来イメージの制作

本節では、「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」の内容を分かりやすく示すコンテンツであるプロモーションビデオ（PV）、及び、より積極的な情報発信を可能にする情報プラットフォームとしてのバーチャル普天間未来シティの制作にあたっての検討を行った。

（1）プロモーションビデオ（PV）の制作

（1）- 1 PV制作の意義と目的

（1）- 1 - 1 意義と目的

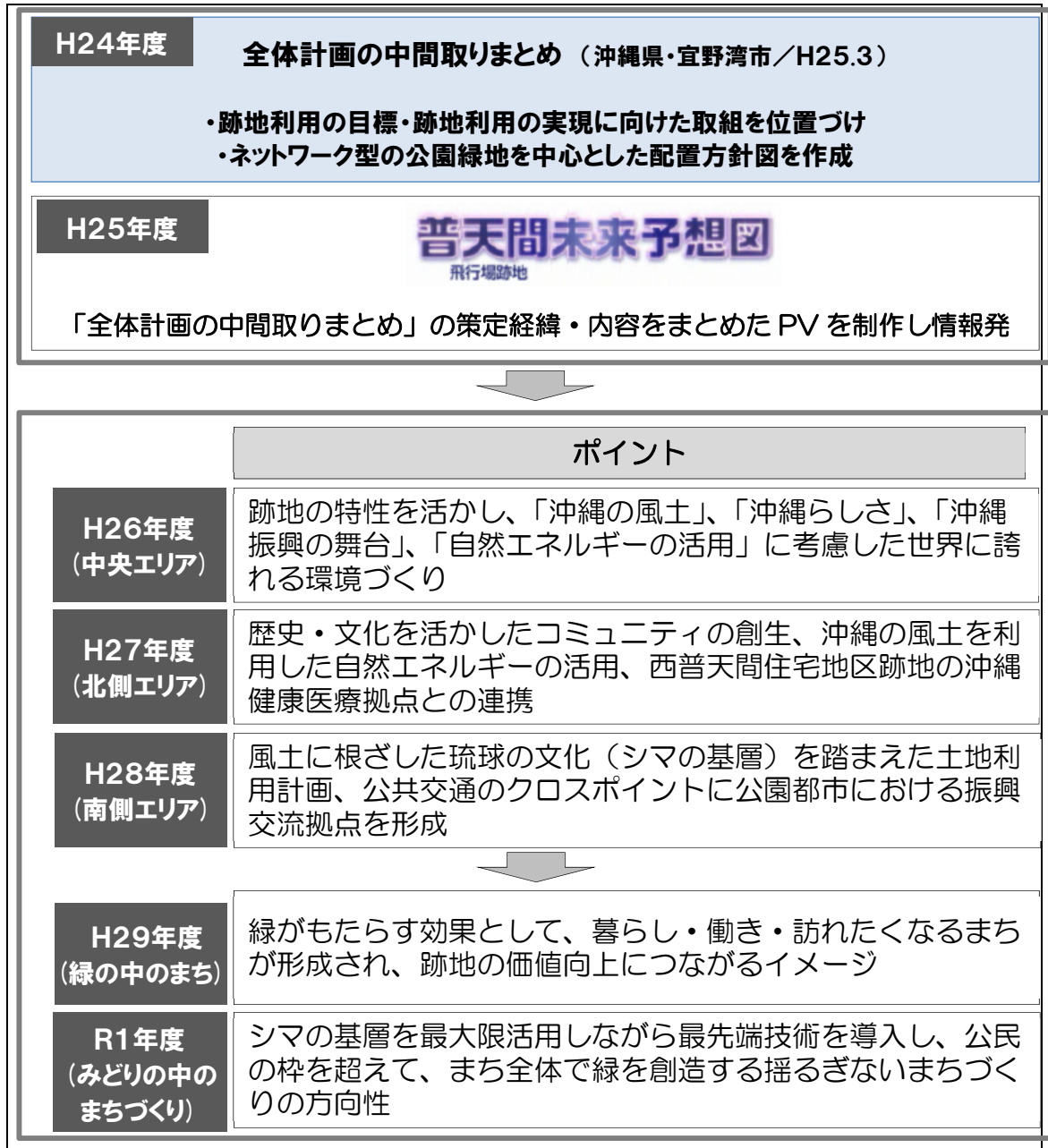
普天間飛行場跡地利用における将来イメージの検討内容をプロモーションビデオとして制作し、県民、市民、地権者等に向けて情報発信を行い、跡地利用の気運醸成ツールとして活用するとともに意見聴取ツールとしても活用することを目的とする。

（1）- 1 - 2 PVの活用方法

PVは多くの県民、市民、地権者等へ情報発信することが重要と考え、地元の字ごとの郷友会、地主会、普天間飛行場の跡地利用を考える若手の会、ねたてのまちベースミーティングなど積極的に活動されている団体の会合等で見ていただく機会を設けて、意見を聴取する。また、県のホームページ内の動画チャンネルやイベント等で公開することで、さらに広く県民、市民、地権者等のみなさんに見ていただくとともに、普天間飛行場跡地の計画づくりに関心を持ってもらう。

(1) - 1 - 3 今年度のPV制作の視点

来年度策定・公表予定の「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」の内容を伝えるPVは、過年度に制作したPVの内容を踏まえ、以下の視点で制作した。



- ・来年度策定・公表予定である「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」の内容を示し、かつ主要なポイントを強調し、県民、市民、地権者等の気運醸成を図る。

R4年度公表 全体計画の中間取りまとめ（第2回）（沖縄県・宜野湾市／R4）

- ・新たに跡地の将来像・揺るぎないまちづくりの方向性を位置づけ
世界に誇れる優れた環境の創造 ～みどりの中のまちづくり～
- ・新たな価値を生み出す公民一体となった大規模公園エリアを中核とした配置方針図に更新

〇「全体計画の中間取りまとめ」（第2回）PV制作の考え方

普天間未来予想図 2.0

飛行場跡地

「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」の主要なポイントを強調したPVを制作し情報発信



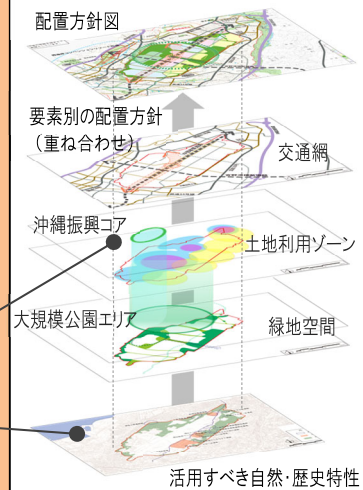
① 全体計画の中間取りまとめ（第2回）主要なポイント等

「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」

- 1 跡地の将来像～世界に誇れる優れた環境の創造～
- 2 揺るぎないまちづくりの方向性
- 3 計画づくりの4つの方針
- 4 緑地空間配置を重視した空間構成の方針

【主要なポイント】

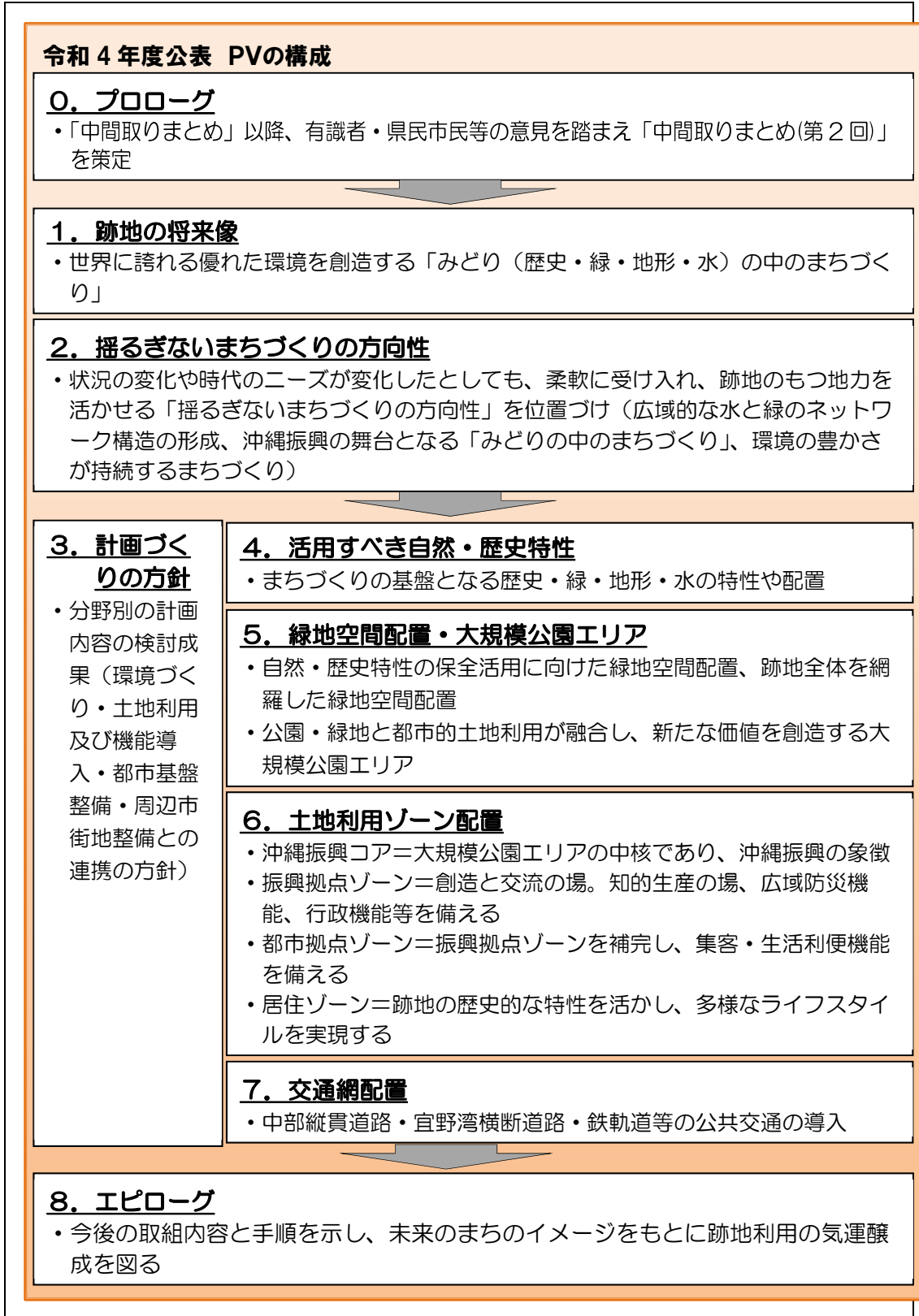
- ・沖縄振興に向けた環境づくり（SDGs、脱炭素）
- ・新たな価値を生み出す「みどり」の創造
- ・沖縄振興に向けた象徴となる空間の形成
- ・活用すべき自然・歴史特性の配置の確認



(1) - 2 PVの制作



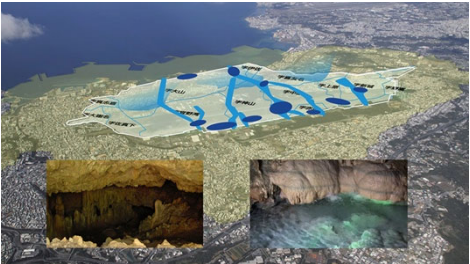

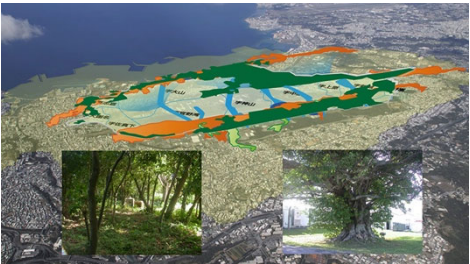
(1) - 2 - 1 PVの構成

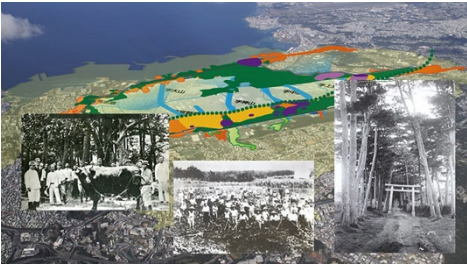
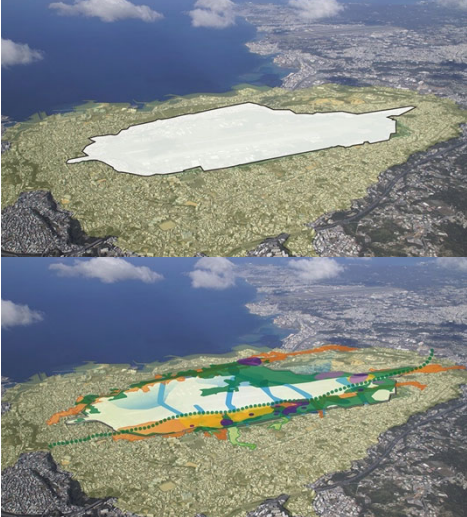
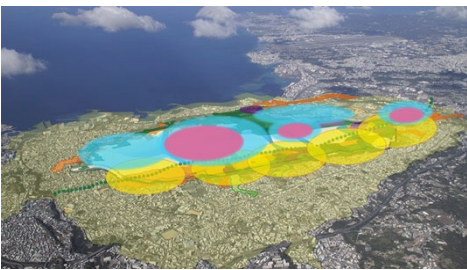
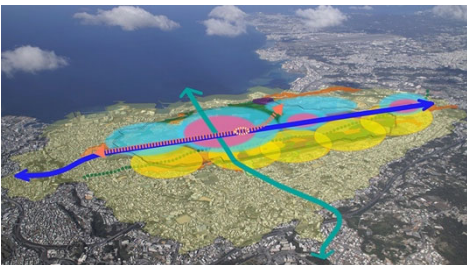
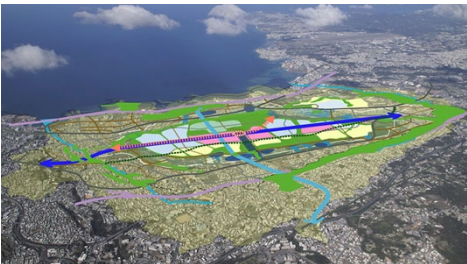
「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」の内容を伝えるPVを制作するため、その構成は、以下のように基本的に「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」の構成に沿うものとし、実際の映像では計画内容のポイントやキーワードの強調等の工夫を行った。



(1) - 2 - 2 PVシナリオ

No	time	コメント案	画像・文字情報メモ
I プロローグ			
01		1996年 日本とアメリカの話し合いで、普天間飛行場を日本に返還することが決まりました。	
02		2006年 普天間飛行場の跡地をどのような使うか、その基本的な方向性を公表しました。 この方向性を元に、跡地利用計画の検討を進め、	
03		2013年 途中経過として「全体計画の中間取りまとめ」を公表しました。	
04		その後、県民市民・地権者のみなさんや有識者の意見を伺い、調査を重ねながら、計画の更新を進め	
04-2		2022年「中間取りまとめ」の更新版を公表します。	
05		<タイトル>	

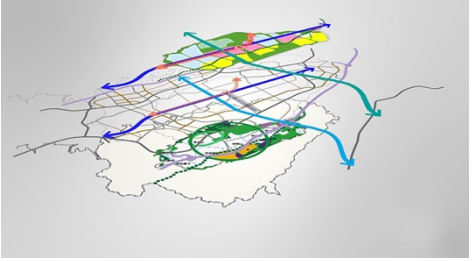
No	time	コメント案	画像・文字情報メモ
Ⅱ 跡地の将来像			
06		<中見出し> (扉)	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">跡地の将来像</div>
07		<p>(1. 旧集落図)</p> <p>宜野湾市の4分の1を占める、普天間飛行場ですが、飛行場になる前は、多くの村や畑があり、人々が暮らしていました。</p>	 
08		<p>(2. シマの基層)</p> <p>飛行場の地中には、サンゴ礁が盛り上がり、雨水を濾過して、硬い地層の上を流れる豊富な水脈や洞穴があると考えられます。</p> <p>※断面図追加 (次項までつづく)</p>	
09		<p>琉球石灰岩の地層により、高低差ができ、西海岸側を展望できる高台になっています。</p>	
10		<p>地下水脈から水を吸い上げ、生き生きと繁った木々は、季節風から生活を守り、暮らしを豊かにしていました。</p>	

No	time	コメント案	画像・文字情報メモ
11		<p>普天間飛行場には、昔の人たちの自然を活かす知恵や、暮らしから生まれた文化が、まだ残っていると考えられます。</p>	
12		<p>(3. 飛行場の撤廃) 飛行場が返還され、新しいまちをつくる時に、この、水・地形・緑・歴史文を可能性として活かし</p>	
13		<p>(4, 土地利用計画) 多くの人々が、暮らし・働き・訪れる場をつくること。</p>	
14		<p>(5 交通網) そして、分断されていた東西南北を道や鉄道などの交通網でつなぎ、</p>	
15		<p>(6. 計画図) 都市の機能と自然や文化を合わせ持つ、世界に誇れる環境の新しいまちをつくること。 それが 普天間飛行場跡地の目指す姿です。</p>	

No	time	コメント案	画像・文字情報メモ
Ⅲ中間取りまとめ（第2回）のポイント1 「揺るぎないまちづくりの方向性」			
16		<中見出し>（扉）	<p>中間取りまとめ(第2回) ポイント1 揺るぎないまちづくりの方向性</p>
16-2		2013年に策定した中間取りまとめからおよそ10年。	<p>2013年 【全体計画の中間取りまとめ】</p> 
16-2-2		人々のライフスタイルや価値観、環境に対する考え方も変わり、跡地の計画も少しずつ変化してきました。	<p>2019年 【全体計画の中間取りまとめ】 随時更新</p> 
16-3		しかし、どんなに時代が変わっても、揺らぐことなく、大切にしたい3つのことを、計画の考え方の中にはっきりと盛り込みました。	<p>2020年 水と緑のネットワーク みどりの中のまちづくり 環境の豊かさの持続</p>
17		跡地に残る水と緑、新たに生み出す緑、周辺の水と緑を一体化した、水と緑のネットワークを創ります。	<p>① 広域的な水と緑のネットワーク 構造の形成</p>  <p>みどりの中のまちづくり 環境の豊かさの持続</p>
18		この水と緑ネットワークを活かし、都市機能を融合させることで、この地の価値を高め、魅力的な環境のみどりの中のまちをつくれます。	<p>② 沖縄振興の舞台となるみどりの中のまちづくり</p>  <p>水と緑のネットワーク 環境の豊かさの持続</p>

No	time	コメント案	画像・文字情報メモ
19		この水と緑の環境の豊かさを持続させるために、人材やその時々の最新技術を活かしていきます。	<p>3環境の豊かさの持続するまちづくり</p> <p>水と緑のネットワーク みどりの中のまちづくり</p>
19-2		時代や社会のニーズがどんなに変化しても、跡地が持つ自然と歴史文化を活かしたまちにすること、それを揺るぎないまちづくりの考え方としました。	(キーワードのリPEAT)
Ⅳ中間取りまとめ（第2回）のポイント2 資源を活かす空間構成の方針			
20		<中見出し>（扉）	<p style="text-align: center;">中間取りまとめ(第2回) ポイント2 資源を活かす空間構成の方針</p>
22		公共と民間が協力しながら一緒に創り出す緑地空間と、都市空間とを融合させた、	<p>みどりの中のまちづくり</p> <p>緑のオープンスペース 企業 市民 行政 公園・緑地</p> <p>緑地空間</p>
23		大規模公園エリアが「みどりの中のまちづくり」の中心です。	<p>みどりの中のまちづくり</p> <p>大規模公園エリア</p> <p>緑地空間</p>
24		大規模公園エリアの中でも核となる「沖縄振興コア」平和を願う万国津梁の志をもって、沖縄を元気にするシンボルとなることをめざします。ここを起点に、特色のあるまちが広がります。	<p>みどりの中のまちづくり</p> <p>沖縄振興コア 大規模公園エリア</p> <p>土地利用</p>

No	time	コメント案	画像・文字情報メモ
25		<p>高台から海を望む眺望のよい振興拠点ゾーンは、研究開発などの創造性や発想力を引き出す企業には魅力的なロケーションです。 先にまちづくりが進められている沖縄健康医療拠点ともつながり、沖縄に新しい産業を生み出すゾーンです。</p>	
26		<p>都市拠点ゾーンは、まちの中心軸に沿って、商業やサービスを配置。ここに暮らす人、働く人、学ぶ人、そして周辺の皆さんの生活をサポートする、まちの原動力となるゾーンです。</p>	
27		<p>かつて、並松街道が通り、先人たちの知恵で、自然と共に暮らした旧集落があった東側一帯の居住ゾーンは、跡地周辺のまちともつながる住宅地を想定しています。</p>	
29		<p>この緑地空間と3つのゾーンの間を通るのが、いままで飛行場があるために分断されていた東西南北をつなげる交通網です</p>	
30		<p>中南部都市圏を南北につなぐ「中部縦貫道路」</p>	
31		<p>東海岸と西海岸をつなぐ「宜野湾横断道路」</p>	

No	time	コメント案	画像・文字情報メモ
33		そして、那覇から名護を1時間で結ぶ予定の「沖縄鉄軌道」が計画されています	 <p>交通網</p>
34		これらの交通網により、新しいまちの外と中がつながり、広く自由に行動できるようになります。	 <p>交通網</p>
V エンディング			
36		この計画は、これからも県民市民のみなさん、地権者のみなさん、未来を担う若者たちからも多くの意見を伺い、検討を重ね、時代や社会の変化に柔軟に対応しながら更新していきます。	 <p>(PVシーン、イベントシーンのフラッシュバックを画面に立体的に乗せていく)</p>
37		跡地に引き継がれる自然や歴史文化などの資源や先人たちの思いの上に、まちが生まれかわり…人が集まり、産業を興し、創造性にあふれた多様な暮らしを実現する未来のまち。 新たなモデルとなる世界に誇れる環境のまちを、共に創っていきましょう。	

(2) バーチャル普天間未来シティの制作

本章「1. (2) 今後の合意形成・情報発信のあり方検討」を踏まえ、いつでも・どこでも・誰にでも（時間・場所・人に限定されず）、より積極的な情報発信を可能にする情報プラットフォームとしてバーチャル普天間未来シティを制作し、今年度はパソコン用のウェブブラウザで閲覧・体験できるコンテンツを制作した。

尚、バーチャル普天間未来シティを制作にあたっては、VRをベースとした体験空間（跡地の特性を伝える空間）を制作し、原風景模型等これまでに制作したコンテンツを活用（再編集）した。

(2) - 1 バーチャル普天間未来シティの制作に向けての考え方

(2) - 1 - 1 基本的な考え方

- ・跡地の成り立ちや未来のまちのイメージを伝えるために、VRを活用しながら、跡地を知り、学び、体験できるシーンを展開
- ・過去・現在・未来、それぞれの跡地を体験できるシーンを展開
- ・跡地の土地利用の特徴を示すため、沖縄振興コア周辺（振興拠点ゾーン・都市拠点ゾーン）、並松街道（居住ゾーン）を体験できるシーンを展開

(2) - 1 - 2 コンテンツ制作に向けての考え方

- ①「中間取りまとめ（第2回）」の重要な要素であり、視覚的に表現することでイメージを伝えやすいコンテンツ（活用すべき自然・歴史特性、要素別の配置方針、配置方針図等）を活用
- ②過年度の制作物を活かし（原風景模型、パネル等）、跡地の歴史・自然特性等を知り、学ぶことができるコンテンツを制作
- ③バーチャル普天間未来シティ制作の初年度にあたる今年度は、表現方法の技術的検証・3Dならではの見せ方の検討を行い、コンテンツを制作
 - ・マウス操作で3D空間の移動を可能にし、また説明用ポップアップをつくる等、ブラウザ上での操作性（ユーザインターフェイス）やデータ容量の検証等の技術的検証を踏まえ、3Dならではの見せ方、楽しみ方ができるようなコンテンツ制作を行い、来年度以降へつなげる。






(2) - 2 VRを活用した体験空間の概略検討

これまでに制作したコンテンツを整理することで、活用可能なコンテンツを明らかにし、また体験空間との組み合わせを検討した。

(2) - 2 - 1 体験空間で展開する情報の整理

次頁の「これまでの取組・制作コンテンツ一覧」を以下の通りにカテゴライズし、体験空間と組み合わせる情報を整理した。

表Ⅲ-4 これまでの取組・制作コンテンツのカテゴリー

	カテゴリー	制作コンテンツ例
	普天間飛行場跡地の過去・現在 (普遍的な資源など)	・原風景模型 ・過去・現在の航空写真 ・普遍的資源・歴史に関するパネルなど
	普天間飛行場跡地の未来 (みどりの中のまちづくり)	・みどりのなかのまちづくりのPV、 ・みどりの効果に関するパネルなど
	普天間飛行場跡地の未来 (その他)	・中間とりまとめ紹介パネル ・「計画内容の具体化」に関する取組の概要」パンフレット ・新しい沖縄のライフスタイル紹介パネルなど
	普天間飛行場跡地の参考	・海外事例視察のレポート、動画など
	その他	・イベント実施レポートなど

表Ⅲ-5 これまでの取組・制作コンテンツ一覧（1）

年度	○取組・●コンテンツ	HP掲載		備考
		掲載有無	掲載箇所	
2013(H25)	●PV「普天間未来予想図」	○	動画で見る普天間未来予想図	8分17秒の動画
	●県民向けPRパンフレット	○	計画のポイント	HPではパンフレットを4枚に分割し掲載（最新情報に要更新）
	●地形模型	×		
	○大規模基地返還跡地利用計画提案コンペ	○	県民の声	上位5作品を掲載（計20枚） パネルからの接写データあり
	○県民フォーラム（第10回）	×		
	○PRキャラバン	×		
2014(H26)	●PV「vol1. 中央エリア」	○	未来のまちイメージPV	7分56秒の動画
2015(H27)	●PV「vol2. 北側エリア」	○	未来のまちイメージPV	10分18秒の動画
	●地層模型	×		
	●英語版パンフレット作成（中間取りまとめ・広域構想）	○	ENGLISH	両パンフレットを掲載（計8枚）
	○ワークショップ	×		実施レポート／記録
2016(H28)	●PV「vol3. 南側エリア」	○	未来のまちイメージPV	10分46秒の動画
	●原風景模型	○	模型で見るむかしの風景	集落の構成要素（計25か所）を紹介
	●原風景模型の説明パンフレット	×		
	○まちま〜い	○	原風景を探しに行こう！	実施レポートを掲載
2017(H29)	●PV「緑の中のまちづくり編」	○	緑の中のまちづくり	7分15秒の動画
	○海外視察「シンガポール」	○	緑の中のまちづくり	5分45秒の動画
2018(H30)	●パンフレット「計画内容の具体化」に関する取組の概要	×		
	●イベント用PV「シマの基層編」（過年度PVの再編集）	×		3分13秒の動画
	●イベント用PV「緑の中のまちづくり」（過年度PVの再編集）	×		6分1秒の動画
	●イベント用PV「シアター映像」	×		7分48秒の動画
	●現在の航空写真マット	×		
	●戦前の航空写真マット	×		
	●VRによるまちま〜い	×		ポップアップが出るVR
	●展示イベント①パネル（図書館イベント）	-	体験イベント	パネル（9枚）掲載（子ども用）
	01_みんなの家は？（基地周辺の学校等をマークした航空写真）	○		
	02_普天間飛行場のこと（普天間飛行場の歴史的経緯と宜野湾市に占める飛行場の割合）	○		
	03_比べてみよう今・昔（1945年と2009年の航空写真で比較）	○		
	04_普天間飛行場はどんなところ？（シマの基層説明）	○		中間取りまとめ報告よりリライト
	05_模型でわかるく地形と緑を活かした集落の様子（風から守る緑地・屋敷林）	○		原風景模型の説明パンフレットよりリライト
	06_模型でわかるく昔の集落の様子（旧宜野湾集落）	○		HP「模型で見る昔の風景」をパネル化
	07_模型でわかるく昔の集落の様子（旧神山集落）	○		HP「模型で見る昔の風景」をパネル化
	08_基地がまちになれば、こんなに変わる！（返還前と返還後の事例紹介）	○		県民向けPRパンフレットよりパネル化
	09_未来のまちのキーワード（緑の中のまち、緑の効果）	○		PV「緑の中のまちづくり」より抜粋パネル化
	●展示イベント②パネル	-		※パネル（11枚）の掲載なし
	01 普天間飛行場跡地利用計画の中間とりまとめ_1	×		
	02 普天間飛行場跡地利用計画の中間とりまとめ_2	×		
03 普天間飛行場及び周辺における自然環境資源	×			

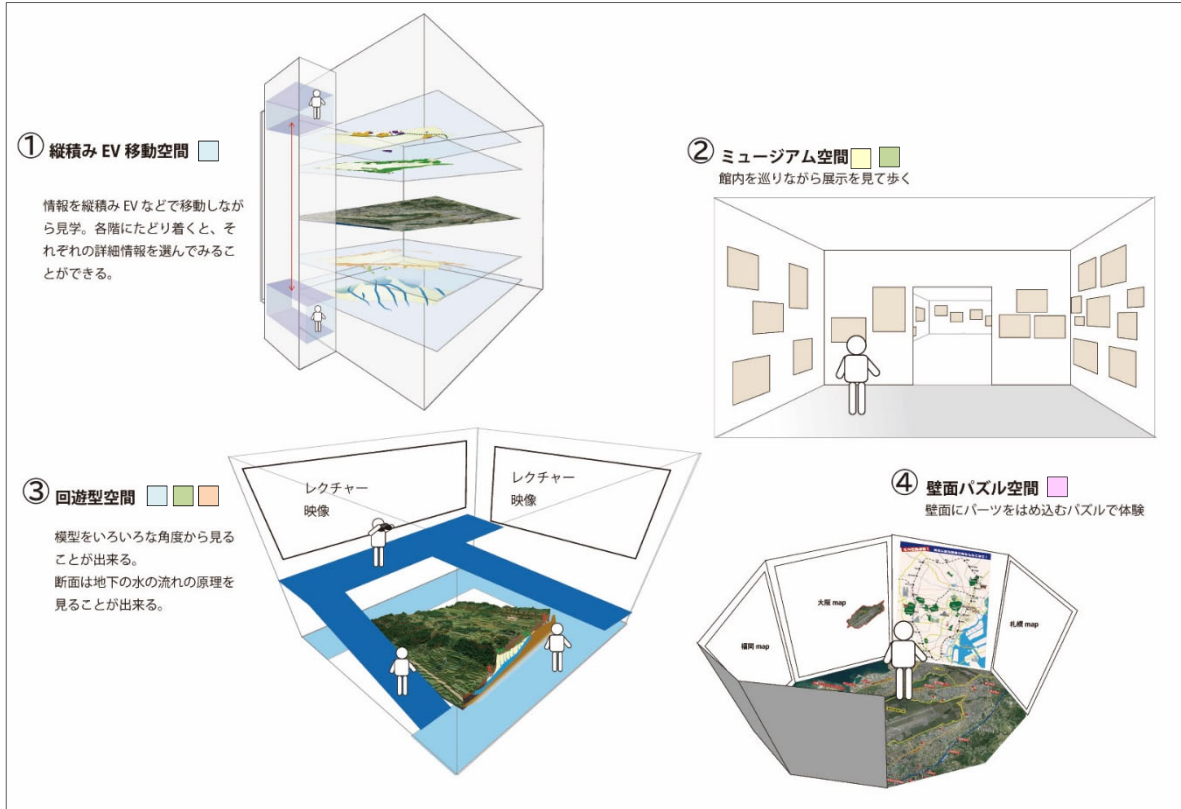
表Ⅲ-6 これまでの取組・制作コンテンツ一覧（2）

年度	○取組・●コンテンツ	HP掲載		備考
		掲載有無	掲載箇所	
	04 普天間飛行場及び周辺における歴史文化資源	×		
	05 模型でわかる地形と緑を活かした集落のようす	×		
	06 模型でわかる戦前の集落の様子	×		
	07 基地がまちになれば、こんなに変わる！	×		
	08 未来のまちのキーワード	×		
	09 新しい沖縄のライフスタイル_1	×		
	10 新しい沖縄のライフスタイル_2	×		
	11 新しい沖縄のライフスタイル_3	×		
	●イベント配布用オリジナルクリアファイル	×		(まんがキャラクター入り) (ノベルティ)
	○展示イベント①宜野湾市民図書館	○	体験イベント	実施レポート
	○展示イベント②トータルリビングショウ	○	体験イベント	実施レポート
	○海外視察「オーストラリア」	○	緑の中のまちづくり	実施レポート
2019(R1)	●PV「vol4. みどりの中のまちづくりイメージ」	○	未来のまちイメージPV	8分26秒の動画
	●イベント用PV「過去・現在・未来」	×		7分2秒の動画
	●展示イベントパネル	○	体験イベント	パネル(5枚)掲載
	コーナー1 沖縄を感じる	-		
	01_東京と沖縄をくらべてみよう！(東京都と沖縄本島の比較)	○		
	02_山手線の中に普天間飛行場をはめてみよう(広さを感じる)	○		
	03_宜野湾市空撮シート(飛行場と周辺公共施設)	○		
	コーナー2 普天間未来予想図の意見聴取	-		
	04~05_沖縄の未来で行ってみたいところは？(未来予想図から人気投票)	○		
	○展示イベント「こども霞が関見学デー」	○	体験イベント	実施レポート
	○海外視察「ドイツ」	○	緑の中のまちづくり	実施レポート
2020(R2)	-	-		

(2) - 2 - 2 体験空間の概略検討案の作成

バーチャル普天間未来シティの体験空間を4案検討し、各空間の特性を活かしなが
ら発信可能な情報カテゴリーを整理した。

バーチャル普天間未来シティでは、以下の①③空間をベースとした空間を2つ制作
し、発信する情報の再整理を行った。また、跡地の特性を示す空間の提供を行うため
に、沖縄振興コア周辺・並松街道周辺の空間もあわせて、体験可能なものとした。



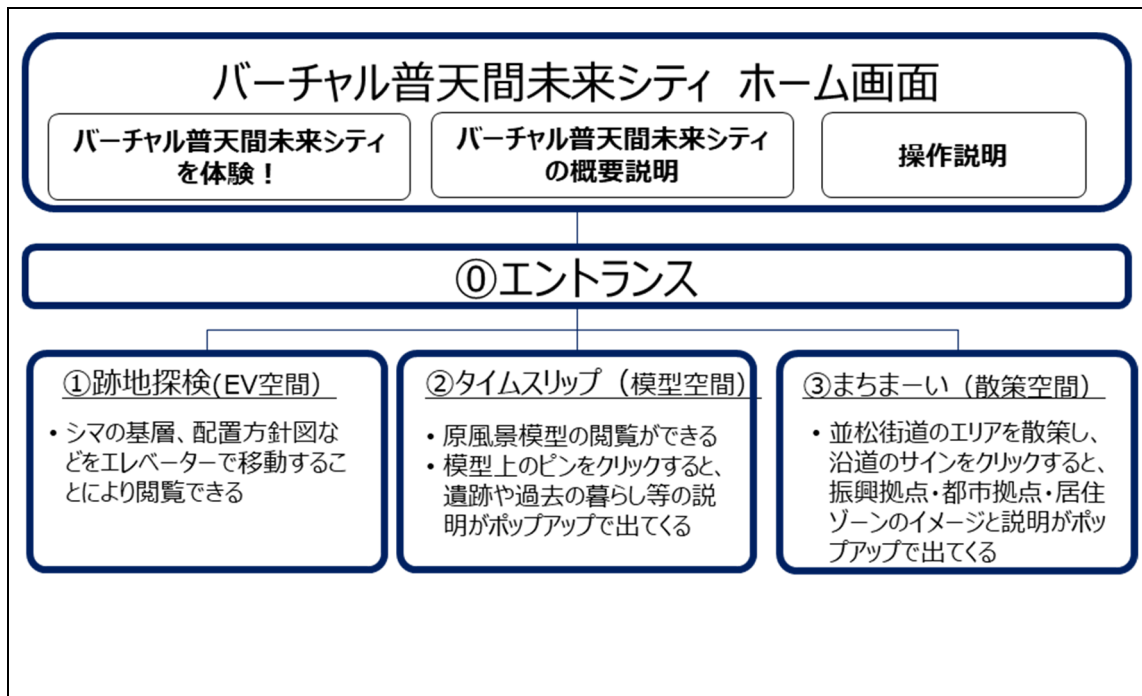
図Ⅲ-14 体験空間の概略検討案

(2) - 3 シーン構成・システムフロー等の検討

体験空間の概略検討案を踏まえ、バーチャル普天間未来シティの全体のシーン構成、システムフロー、コンテンツの相関関係等を整理した。

(2) - 3 - 1 バーチャル普天間未来シティのシーン構成概略

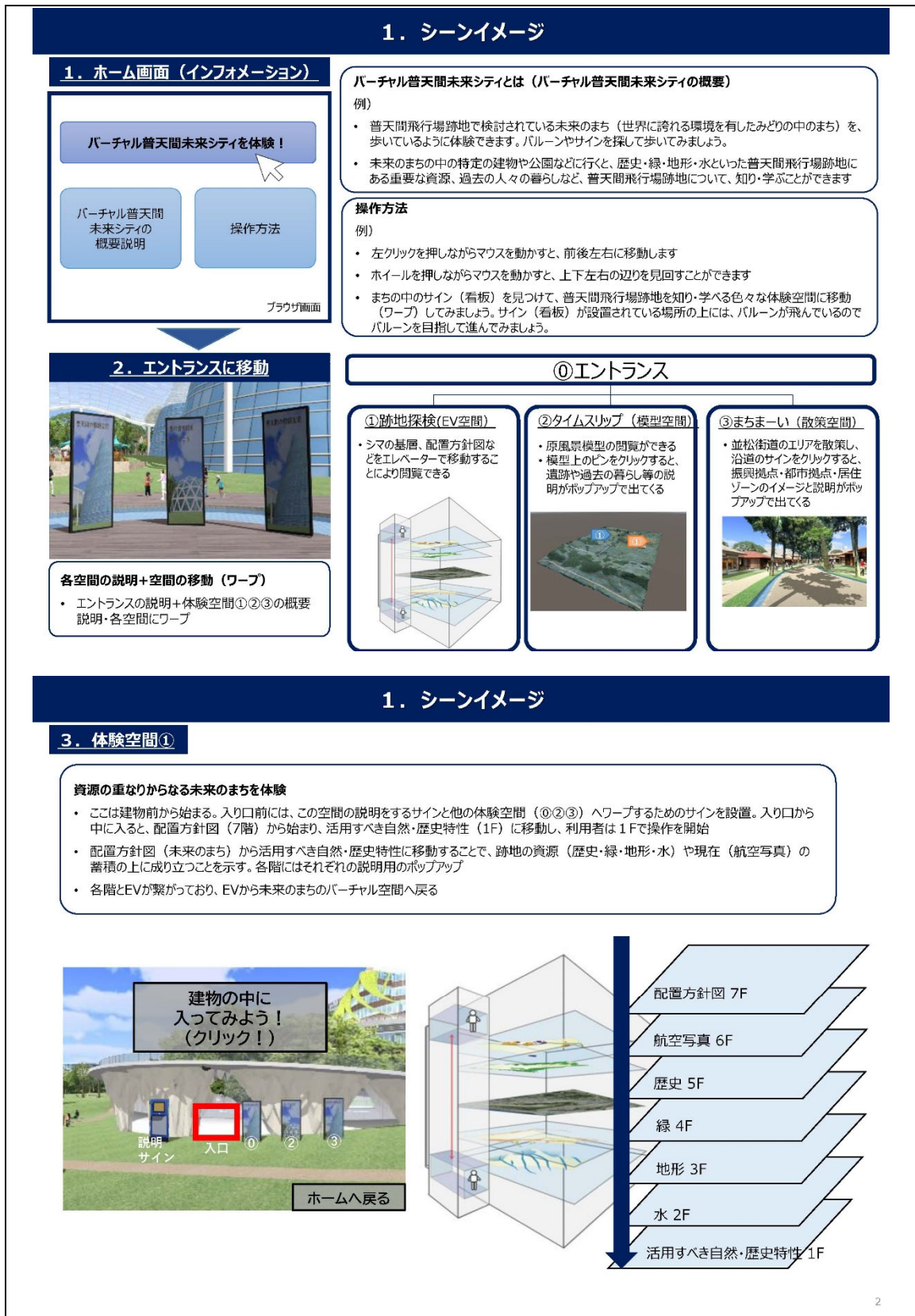
パソコン用のウェブブラウザで、ユーザーが体験するシーンの概略を示す。ブラウザ上のホーム画面からはじまり、バーチャル普天間未来シティを体験する4つの体験空間からなる（①エントランス空間、②跡地探検（EV空間）、③タイムスリップ（模型空間）、④まちまーい（散策空間））。



図Ⅲ-15 シーン構成概略

(2) - 3 - 2 バーチャル普天間未来シティのシーンイメージ

ユーザーが体験する各シーンのイメージや各空間で体験する内容を示す。



1. シーンイメージ

3. 体験空間②

原風景模型から過去の暮らしを知る

- ・ ②空間は、メヌカーから始まる。入り口前には、この空間の説明をするサインと他の体験空間（①③）へワープするためのサイン、メヌカーの説明サイン（昔の写真+コメント）
- ・ 入口を入ると、原風景模型が設置してある空間に入る
- ・ 模型空間に入ると、模型のまわりを移動し、近づいたり離れたりしながら、模型を見ることができる。
- ・ 模型上のピンをクリックすると、原風景模型の説明がポップアップで出てくる

メヌカーの中に入ってみよう！（クリック！）

入口

模型空間・メヌカーの説明サイン

模型空間内へ

ホームへ戻る

操作説明

ピンをクリック

ピンをクリック！

入口へ戻る

模型空間・メヌカーの説明サイン（例）

普天間飛行場一帯の昔の風景

原風景模型等の説明コメント

ポップアップの説明（例）

宜野湾メヌカー古湧泉

メヌカーの説明コメント

宜野湾クシヌウタキ（後ろの御嶽）

クシヌウタキの説明コメント

1. シーンイメージ

3. 体験空間③

普天間飛行場跡地で検討されている未来のまち（並松街道）を散策

- ・ 散策の始点及び街道沿道には、この空間を説明するサインと他の体験空間（①②）へワープするためのサインを設置
- ・ 並松街道沿いのサインをクリックすると、3つのゾーンの説明がポップアップで出てくる

未来のまちを散策してみよう！

操作説明

散策空間の説明サイン

ホームへ戻る

ポップアップの説明（例）

集客施設周辺

振興拠点ゾーンと集客施設の説明コメント

見晴らしの良い屋上テラス

都市拠点ゾーンとテラスの説明コメント

街道沿いのサイン

他の体験空間へワープ

体験空間③の説明

振興拠点ゾーン

都市拠点ゾーン

居住ゾーン

街道沿いのサインをクリック

※サインの設置箇所（例）

図 III-17 シーンイメージ（2 / 2）

(2) - 3 - 3 システムフロー・コンテンツの相関関係

各空間等での操作イメージ等を示したシステムフロー図と、各空間やコンテンツのつながりを示すコンテンツ相関図を次頁以降に整理した。なお、各図の概略は以下に示す。

図	画面・空間	概略
システムフロー図	ホーム画面	以下のコンテンツの画面イメージ（ボタン配置等）を示す ・バーチャル普天間未来シティとは ・操作説明 ・バーチャル普天間未来シティのエントランスへのリンク
	エントランス	・エントランス空間の画面イメージ
	跡地探検 （①空間）	・①空間として制作したエレベーター（E V）空間内での画面イメージ（ボタン配置等）、ユーザーの動き・操作等を示す
	タイムスリップ （②空間）	・②空間内での画面イメージ（ボタン配置等）、ユーザーの動き・操作等を示す
	未来まちまーい （③空間）	・③空間内での画面イメージ（ボタン配置等）、ユーザーの動き・操作等を示す
コンテンツ相関図	エントランス	・エントランスからつながる空間・コンテンツを示す（①～③空間へ移動可能）
	跡地探検 （①空間）	・①空間入り口では、エントランス・②空間・③空間につながる ・①空間内でつながる空間・コンテンツを示す（E V・各フロア・①空間の説明へ移動可能）
	タイムスリップ （②空間）	・②空間入り口では、エントランス・①空間・③空間につながる ・②空間内でつながる空間・コンテンツを示す（原風景模型のある部屋・原風景模型の説明・②空間の説明へ移動可能）
	未来まちまーい （③空間）	・③空間入り口では、エントランス・①空間・②空間につながる ・③空間内でつながる空間・コンテンツを示す（跡地の3つのゾーンの説明・③空間の説明へ移動可能）

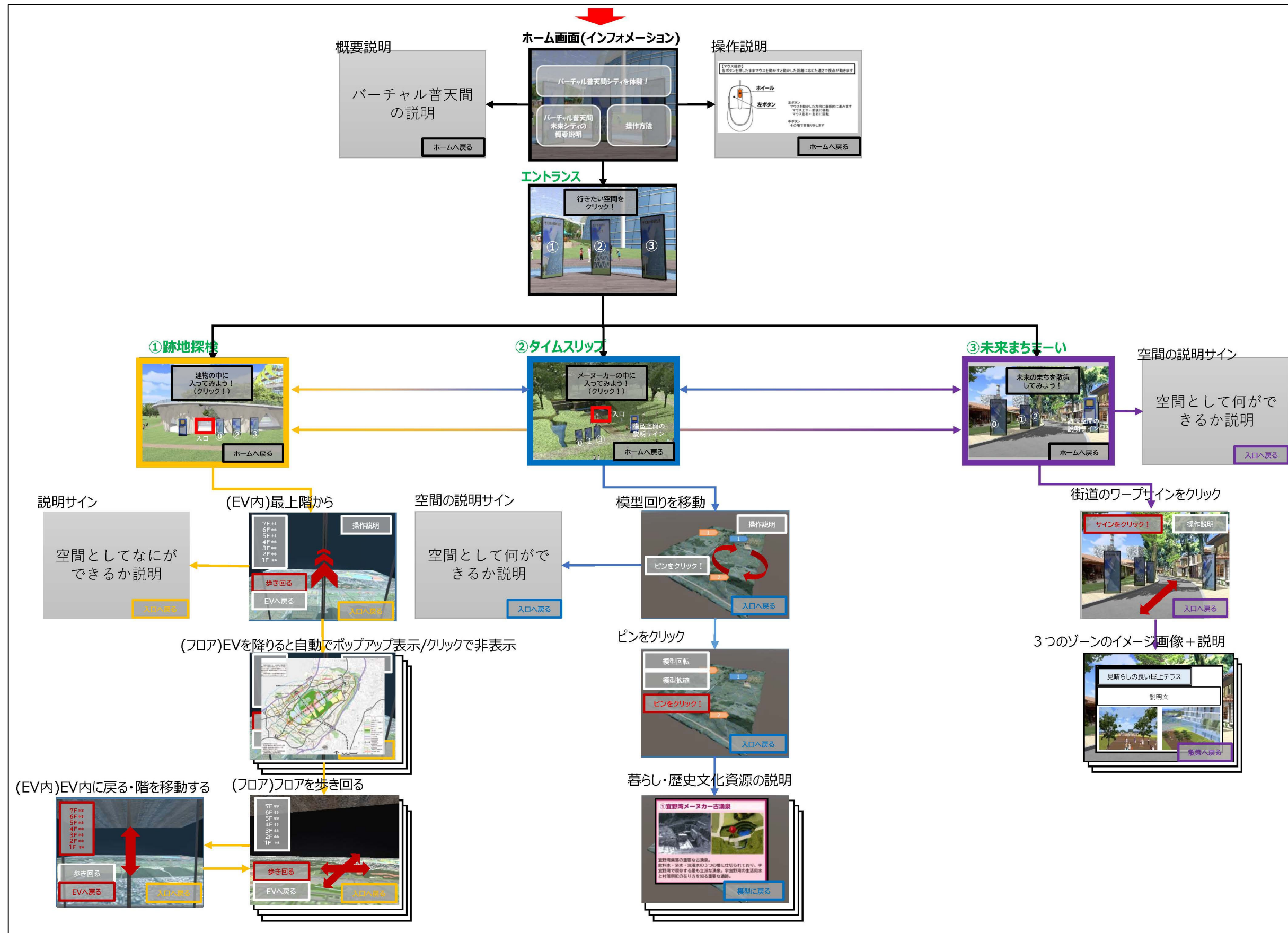
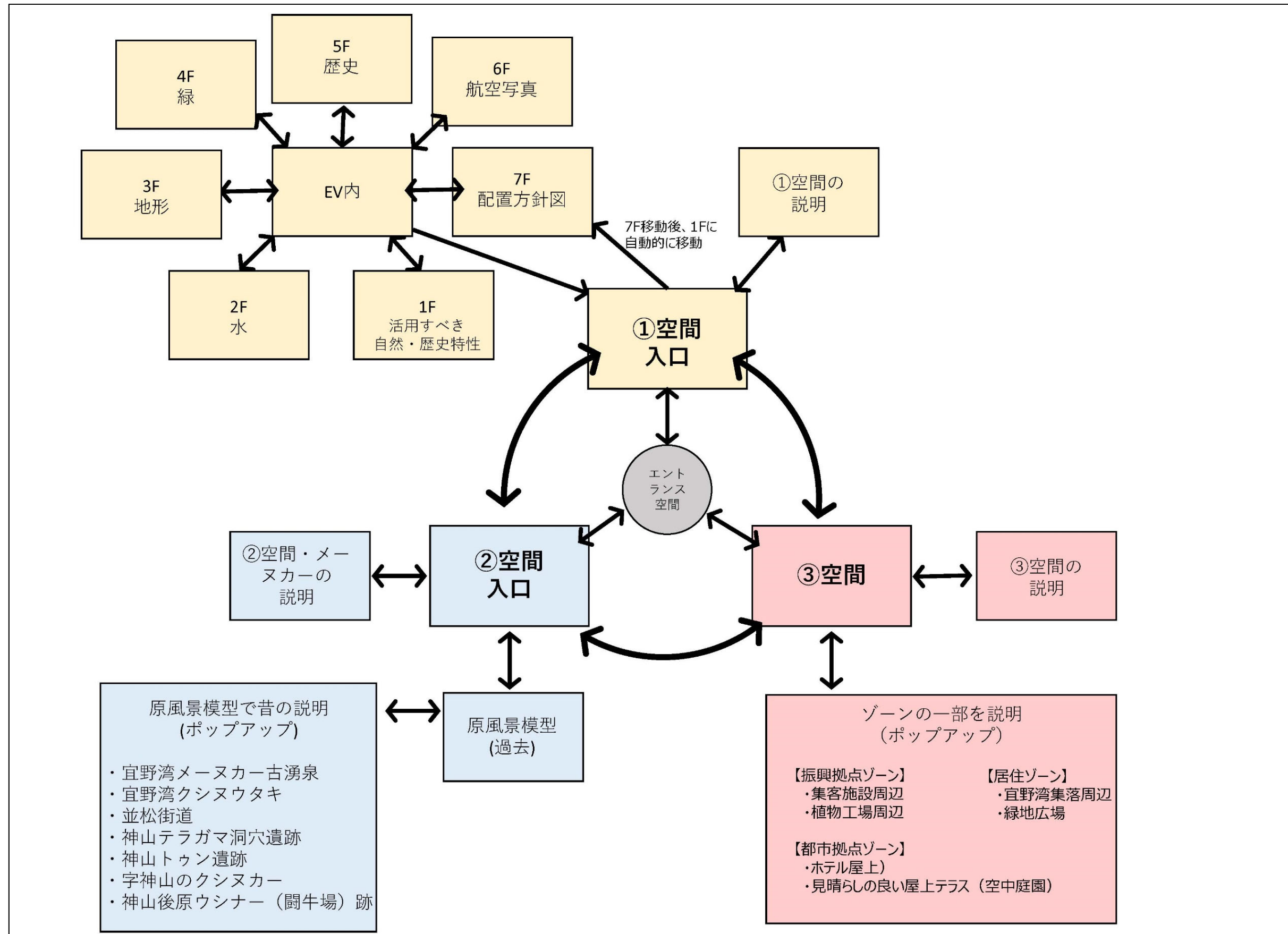


図 III-18 システムフロー図





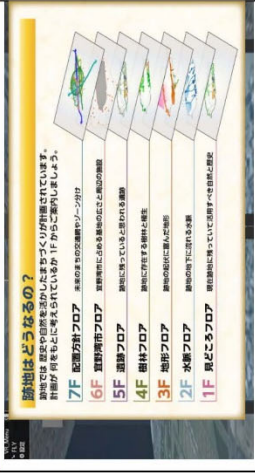
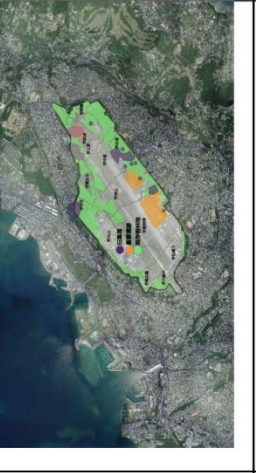





図Ⅲ-19 コンテンツ相関図

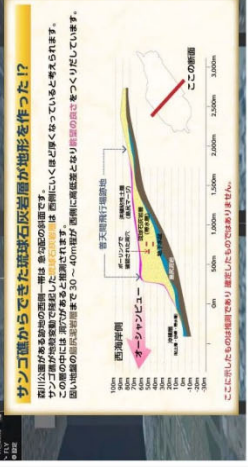
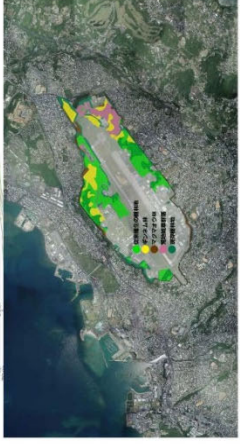


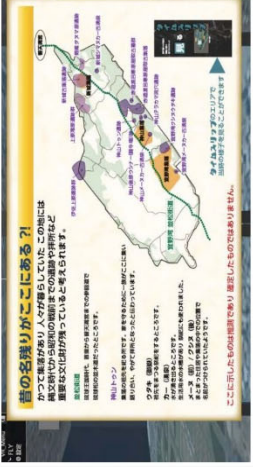
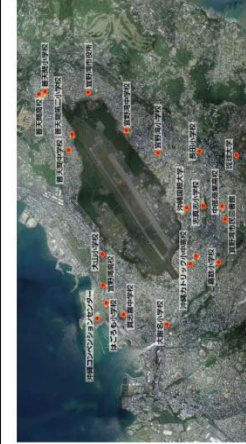
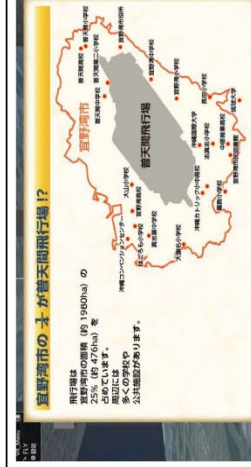

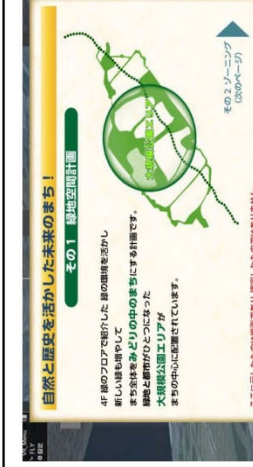
(2) - 4 ポップアップ・サイン等のイメージ










ウェブブラウザのトップ画面、体験空間内に設置されるサイン（看板）・説明用のポップアップ等に記載するコメント、サインの設置位置等を一覧で示したコンテンツ一覧、及び各コンテンツのイメージ画像を次頁以降に示す。

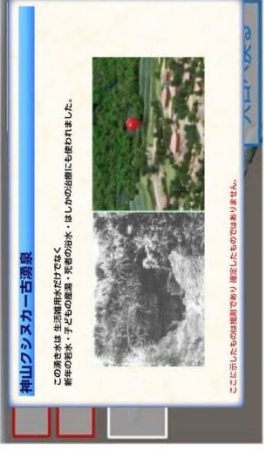
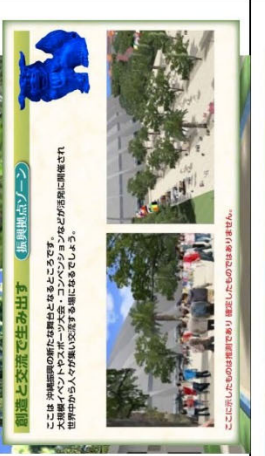


④ コンテンツ一覧

番号	訴求概要	設置位置	コメント案	イメージ	形状	操作方法 ツール
ホーム						エントランスへのワー フ
001	(初期操作)	スタート画面	未来を歩き、過去を見つける バーチャル普天間未来シティ GO! スタート		ホームボタ ン1	
002	(初期操作)	スタート画面	バーチャル普天間未来シティはこんなところ		ホームボタ ン2	クリックで003が出 現
003	バーチャル普天間未 来シティの概要を 明	スタート画面	普天間飛行場の跡地に近い未来に、どんなまちにな るでしょう。 現在、検討されている跡地利用計画をもとに「未来 の普天間」を仮想空間で表現しました。 このバーチャルシティの中には ・未来のまちの計画とイメージ ・跡地が持っている可能性と魅力 ・歴史や文化 がたくさん出てきます。 看板を見つけてクリックしてください。		説明POP	×クリックで消失
004	(初期操作)	スタート画面	動かしか方		ホームボタ ン3	クリックで005出現
005	操作方法説明	スタート画面	(イラスト解説) 動作と結果をイラストと単語で表現		説明POP	×クリックで消失
エントランス						
006			普天間飛行場跡地の未来を体験！ (以下画面下) ----- ★3つのビルボード（看板）をえらぶとワーフしま す。		説明POP	VR画面の上にダブリ
007	散策空間の 体験概要と誘導	水場センタース テージ	■未来まちまい（散策空間） 歩く…未来のまちのOG空間を歩く		看板 (ボタン)	クリックでVR遊歩街 道スタート地へワーフ
008	模型空間の 体験概要と誘導	水場センタース テージ	■タイムスリップ（模型空間） 見つける…飛行場になる前の集落の姿を模型か らさがす		看板 (ボタン)	クリックでVRメー スカーへ前へワーフ
009	EV空間の 体験概要と誘導	水場センタース テージ	■跡地探検（EV空間） 知る…ここにはどんな可能性があるか、それを 未来にどう活かすかを知ることができる		看板 (ボタン)	クリックでEV空間建 物前にワーフ

番号	訴求概要	設置位置	コメント案	イメージ	形状	操作方法 ツール
O10	場所タイトル	水場センター テニージ	(インフォメーションマーク) まらまーいインフォメーション 噴水広場		案内板 (ポタン)	クリックでO10-2出 現
O10-2	場所の説明	水場 (噴水) 広 場	ここは未来シティの中心部。 豊かな緑の中に、研究所などの産業、ショップや文 化施設、公園・公共交通などが集まっています。 クリックで画面を開いて、歩いてみましょう。		解説POP	×クリックでウォーク 可能
■ 跡地探検 (EV空間)						
O11	EV空間全体説明	EV内	(空間解説) 跡地はどうなるの？ 跡地では、歴史や自然を活かしたまちづくりが計画 されています。この計画案が、何をもとに考えられているか、1Fか らご案内しましょう。 (各階のタイトルは図説に入れる)		解説POP	O09からロープ後 入口に入り 画面変わりで自動出現 ×クリックでEV自動 降下 1Fへ
O12	床面	■ 見どころフロア (活かすべき自 然・歴史のフロ ア) (1F)	(床面)			
O13	活かすべき自然・歴 史特性の説明		活かすべき自然・歴史特性 飛行場の跡地には、重要な植生の樹木や文化財が 残っています。 ここには、地下水脈の入口があると考えられるため 保存する計画です。 この他にも、新たな緑地を創り、防災公園などと しても活用していく計画です。 ■ 地下水脈は2階「水脈フロア」へ ■ 樹木は「4階樹林フロア」へ ■ 文化財は「5F遺跡フロア」へ ■ 計画は「7階配置方針フロア」へ ※ここに示したものは推測であり、確定したもので はありません。(以下全画面に表示)		解説POP	EV1F到着後、自動で ドアオープン 自動で解説POP出現 ×クリックで床面 ウォーク可能 ■EVに戻る
O14	床面	■ 水脈フロア (水のフロア) (2F)	(床面)			
O15	地下水脈の存在説明		地下には水の流れている？ ここには、沖縄本島中南部でも数少ない地下水脈が ある地域です。水を保つ水盆や湧き水が多くあると 考えられます。 地下の断面を見る→(次のページへ)		解説1POP	EV2F到着後、自動で ドアオープン 自動で解説POP出現 ▲でO16 (解説2)
O16	地下水脈と湧水の仕 組み説明		タイモ畑の湧き水はここから流れてきたの？ 雨水が琉球石灰岩層で濾過され、地下を流れて大山 タイモ水田で湧き出すと考えられます。 (方向は図説で) ＜地層については3階で見られます＞		解説2POP	×クリックで床面 ウォーク可能 ▼でO15 (解説1) ■EVに戻る
O17	床面	■ 地形フロア (地形のフロア) (3F)	(床面)			

番号	訴求概要	設置位置	コメント案	イメージ	形状	操作方法 ツール
018	地層の説明		サンゴ礁からできた琉球石灰岩層が地形を作った!? 森川公園がある跡地の西側一帯は、急勾配の斜面でサンゴ礁が地殻変動で隆起した琉球石灰岩層は、西側にいくほど厚くなっていると考えられます。この層の中には、洞穴があると推測されます。固い地盤の島尻泥岩層まで80~40m程が、西側に高低差となり眺望の良さをづくりだしています。		解説1POP	EV3F到着後、自動で トアオープン 自動で解説POP出現
020	床面	■樹林フロア (緑のフロア) (4F)	(床面)			
021	緑地の価値性説明		手つかずの自然が残ってる!? 南東側と北西側に在来種や大木、貴重な動植物の育成可能性があると考えられます。西側の連続した緑地や、地下水脈の入口の湧き水が多く見られる東側の緑地は、この地特有の生態系のつながりや、地下水保全においても重要と考えられます。		解説1POP	EV4F到着後、自動で トアオープン 自動で解説POP出現
022	床面	■遺跡フロア (5F)	(床面)			
023	歴史資源の概要		昔の名残りがここにある?! かつて人々のいとなみがあったこの地には、縄文時代から昭和の戦前までの遺跡や洋所など、重要な文化財が残っていると考えられます。 (各説明は図説)		解説POP	EV5F到着後、自動で トアオープン 自動で解説POP出現 ×クリックで床面 ウォーク可能 ■EVに戻る
024	市内における普天間飛行場の位置、周辺公共施設、緑等の現況の概要	■宮野湾市フロア (空からフロア) (6F)	(床面)			
024-2			宮野湾市の4分の1が普天間飛行場! 飛行場は宮野湾市の面積(約1980ha)25%(約476ha)を占めています。周辺には多くの学校や公共施設があります。		解説POP	EV6F到着後、自動で トアオープン 自動で解説POP出現 ×クリックで床面 ウォーク可能 ■EVに戻る
025	床面	配置方針フロア (7F)	(床面)			
026	配置方針図の概要		自然と歴史を活かした未来のまち! その1 緑地空間計画 4F緑のフロアで見てきた緑の環境を活かし、新しい緑も増やして、まち全体を「みどりのまち」にする計画です。緑地と都市がひとつになった「大規模公園エリア」が、まちの中心に配置されています。		解説POP	EV6F到着後、自動で トアオープン 自動で解説POP出現 ▶で027(解説2)

番号	訴求概要	設置位置	コメント案	イメージ	形状	操作方法 ツール
027	ゾーニング説明		<p>その2 まちのゾーニング計画 (ゾーニング全体図説 吹き出し解説)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 沖繩振興コア：大規模公園エリアの核となって新たな活動・経済を展開 ■ 振興拠点ゾーン：産業施設などが立地 ■ 都市拠点ゾーン：集密施設などが立地 ■ 居住ゾーン：先人の知恵も活かした生活空間を形成 		解説POP	▶T028 (解説3)
028	交通網説明		<p>その3 交通網計画 (交通網全体図説 吹き出し解説)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 中部縦貫道路：南北をつなぐ ■ 宜野湾横断道路：西海岸と東海岸をつなぐ ■ 沖縄鉄軌道：公共交通 (那覇～名護を予定) 		解説POP	×クリックで床面 ウォーク可能 ◀T027 (解説2) ■EVIに戻る
■タイムスリップ (模型空間)						
029	場所タイトル	遺跡の公園 メーヌカー	(インフォメーションマーク) まちまーいんフォメーション 宜野湾メーヌカー古湧泉		案内板 (ポタン)	クリックでO30出現
030	遺跡公園の説明と 模型空間への誘導	模型空間入り口 (メーヌカー)	(未来のまち 遺跡公園) 宜野湾メーヌカー古湧泉 ここは、跡地に残っている遺跡を公園にした風景です。昔の人は、湧き出た水をどのように使っていたのでしょうか。中に入るとわかりますよ。		解説POP	×クリックでウォーク 可能
031	模型空間の全体説明 と操作案内	模型空間内	(模型でタイムスリップ) これは、飛行場になる前の集落の一部、宇宜野湾と宇神山を模型にしたものです。ぐるぐる回してごらんください。ピンをクリック (タップ) すると、昔の様子がわかりますよ。		解説POP	O08からウェブ後 入口に入り 画面変わりで自動出現 ×クリックで模型操作 可能
032	遺跡と模型と 未来シティへの反映 紹介		「宜野湾メーヌカー古湧泉」 湧き出た水は、飲料水・浴水・洗濯用水の3つの槽に流れ込み、村人たちの生活には欠かせない場所でした。		解説POP	ピン①クリックで出現 ×クリックで模型操作 可能
033	遺跡と模型と 未来シティへの反映 紹介		「宜野湾クシヌウタキ」 ウタキ (御嶺) は、祖先をまつる祭祀をするところです。石の祠や海砂利敷などは、村落祭祀やその移り変わりを現すとれます。		解説POP	ピン②クリックで出現 ×クリックで模型操作 可能
034	遺跡と模型と 未来シティへの反映 紹介		「並松街道」 琉球王国時代、首里から普天満宮までの参道だったところです。約3,000本の琉球松が植えられ、その美しさから、国指定天然記念物に指定されています。		解説POP	ピン③クリックで出現 ×クリックで模型操作 可能
035	遺跡と模型と 未来シティへの反映 紹介		「神山テラガマ洞穴」 この洞穴は拝所 (神をお祀りする所) で、普天満宮の祭神である女神伝承を伝えるなど、宇神山の聖地として現在でも信仰の対象です。		解説POP	ピン④クリックで出現 ×クリックで模型操作 可能

番号	訴求概要	設置位置	コメント案	イメージ	形状	操作方法 ツール
036	遺跡と模型と 未来シティへの反映 紹介		「神山トウワン」 集落の先祖を祭る石の祠が保存状態良く残っており、当時の祭祀を知ることができる重要な遺跡です。		解説POP	ピン⑤をクリックで出現 ×クリックで模型操作 可能
037	遺跡と模型と 未来シティへの反映 紹介		「神山クヌヌカカ古湧泉」 この湧き水は、生活雑用水だけでなく、新年の若水、子ども達の産湯、死者の浴水、はしかの治療にも使われました。 ※備考 自野湾市報平成24年度 11月号・コラムより		解説POP	ピン⑥をクリックで出現 ×クリックで模型操作 可能
038	遺跡と模型と 未来シティへの反映 紹介		「神山後原ウシナー（闘牛場）」 沖繩の伝統的な娯楽文化である闘牛。1911（明治44）年頃まで利用されていました。（県内で唯一残っている闘牛場）		解説POP	ピン⑦をクリックで出現 ×クリックで模型操作 可能
■まちまーい（散策空間）						
039	並松街道の説明と 散策への誘導 （シーサー探しゲー ム風）	散策空間内 （スタート地 点）	シーサーを探せ！ ここはかつて琉球国王も普天満宮への参詣で通った琉球松の並木道を再現した通りです。 歩きながら6頭の「ガイド・シーサー」を探してね。 未来のまちの魅力を紹介してくれるよ。 （6頭のガイド・シーサーの絵）		解説POP	007からワープ後 入口に入り 画面変わりで自動出現
040	振興拠点ゾーンの 説明1 （集客施設周辺）	散策空間内 （移動中）	「ガイド・シーサー濃青」 「創造と交流で生み出す」（振興拠点ゾーン） ここは、沖縄振興の新たな舞台となるところです。大規模イベントやスポーツ大会、コンベンションなどが活発に開催され、世界中から人々が集い、交流する場になるでしょう。		解説POP	（ガイド・シーサー濃青） クリックで出現 ×クリックでウォーク 可能
041	振興拠点ゾーンの 説明2 （学術研究施設周 辺）		「ガイド・シーサー薄青」 「創造と交流で生み出す」（振興拠点ゾーン） ここは、島に生まれた研究所です。世界中から先端的な企業や人材が集まり、リフレッシュできる環境の中で新しいアイデアを生み出すこととしてよう。		解説POP	（ガイド・シーサー薄青） クリックで出現 ×クリックでウォーク 可能
042	都市拠点ゾーンの 説明1 （リゾート施設）		「ガイド・シーサーピンク」 「シティライフとリゾートでにぎわう」（都市拠点ゾーン） ここは、周辺に暮らす人たちが世界中から訪れる人たちや、気軽に、便利に、リゾート感を楽しめるところです。		解説POP	（ガイド・シーサー濃青） （ガイド・シーサー薄青） （ピンク） クリックで出現 ×クリックでウォーク 可能
043	都市拠点ゾーンの 説明2 （シティライフ施 設）		「ガイド・シーサー薄ピンク」 「シティライフとリゾートでにぎわう」（都市拠点ゾーン） オフィスやショップが緑の中に混在し、多彩なライフスタイルをエンジョイできるところです。		解説POP	（ガイド・シーサー薄青） （ガイド・シーサー薄ピンク） クリックで出現 ×クリックでウォーク 可能

番号	訴求概要	設置位置	コメント案	イメージ	形状	操作方法 ツール
044	居住ゾーンの 説明1 (自然との共生)		(ガイド・シーサー 薄黄色またはオレンジ) 「自然と歴史の中で暮らす」 まばゆい太陽と緑を抜けてくる風を受けながら暮らせる住居地。昔の集落の人たちの知恵が今に活かされて、自然に包まれながら生活するところです。		解説POP	(ガイド・シーサー 薄黄色) クリックで出現 ×クリックでウォーク可能
045	居住ゾーンの 説明2 (歴史を感じる)		(ガイド・シーサー 薄黄色またはオレンジ) 「自然と歴史の中で暮らす」 住宅のそばには、沖縄の歴史を感じさせる遺跡の公園が広がり、散歩やピクニックが楽しめます。ここは、周辺一帯の防災公園でもあります。 ■遺跡の場所や種類は、エントランスに戻り「跡地探検」からご覧いただけます。		解説POP	(ガイド・シーサー 薄黄色) クリックで出現 ×クリックでウォーク可能